

令和3年度 自己評価のまとめ

学校法人 東光こども園

【評価】

5:よくできている 4:まあまあできている 3:できている 2:あまりできていない 1:全くできていない

評価項目	内容	平均評価	課題及び考察
1 保育の計画性	①園の教育理念や教育目標を理解する	3.9	年度の初めに園の理念等再確認を行っている。それを個々に念頭に置きながら保育を展開していけるよう取り組んでいる。しかし日々の生活の中でなかなか理解を深めていくことまではできていないのが現状である。話し合いの時間を意識的に作るよう努めていく。
	②こども園教育要領を読み、園長や保育者と話し合って理解に努める	2.8	
	③指導計画は幼児の発達に即して幼児期にふさわしい生活を展開できるように具体的に作成する	3.8	
	④安全で清潔感のある環境を構成する	4.3	
	⑤幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をする	3.8	
	⑥幼児の発達や生活を見通した環境の構成をする	3.7	
	⑦異年齢の幼児が自然に交流できるような環境の構成をする	3.5	
	⑧自分の保育を評価・反省することで、次の保育にいかす	3.5	
2 保育の在り方・幼児への対応	⑨園内に危険な箇所がないか、危険な遊び方はしていないか常に配慮し、危険が予測される場合は安全な遊び方について幼児と一緒に考える	4.0	教育目標にある『一人ひとりをしっかり受け止め…』の文言を各々実践している。より良い保育につなげるためにミーティングで課題を話し合い、遊びが発展していける環境を作っていく。個への対応、集団への対応など、どうなっほしいのかねらいを持って援助していく。
	⑩幼児の話をよく聞き、幼児の思いを受けとめる	4.1	
	⑪個々の幼児の発達の姿や課題について、見通しを持って理解する	3.7	
	⑫幼児同士の関わりの姿を捉え、そこでの幼児の育ちを理解する	4.0	
	⑬幼児の思いや考えに共感しながら、幼児と一緒に活動する	4.5	
	⑭幼児の一人一人のありのままの姿を受け入れ、その子のよさを認めるように心がける	4.5	
	⑮幼児が遊びを深めていくための、適切な援助をするように心がける	4.0	
	⑯幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をするように心がける	4.0	
3 保育者としての資質の能力	⑰幼児のすることについて保育者同士で話し合い、共通理解をするように心がける	4.5	保育者として、またチームの一員として、責任感を持って保育を行っている。コミュニケーションをとりながら、気持ちの良い環境を作っていく。
	⑱保護者に対し、幼児や自分の保育のことをわかりやすく話し、保護者との信頼関係を築くよう努める	4.2	
	⑲職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守る	4.8	
	⑳教職員全員で一つのチームであることを自覚する	4.6	
	㉑幼児の成長を自分の喜びと感じる	4.7	
㉒幼児と一緒に生活を創り出すことを楽しいと感じる	4.7		

4	保護者への 対応	㉓保護者に個々の幼児の様子を伝える工夫をする	4. 2	今年度は「育ち」を保護者の方へ伝えるにはというテーマでクラスだよりを作成した。あったことを伝えるだけでなく、そこにどんな「育ち」があったのかを次年度も伝えていけるようにしたい。
		㉔保護者からの相談や要望には心を開いて、よく話を聞くように心がける	4. 5	
		㉕電話は、相手が見えないために誤解が生じやすいことを心に留め、簡潔にわかりやすく話すことを心がける	4. 1	
		㉖話の内容によっては教職員全体で検討し、共通理解のうえで対処する	4. 4	
5	地域の自然や 社会 とのかかわり	㉗地域の人々と親しくあいさつや会話を交わすように心がける	4. 5	小学校との接続や子育て支援については担当者のみが関わっているので低い評価になっている。担当外にも報告を行い意識できるように努めていく。
		㉘小学校の教育内容について理解するよう努める	2. 5	
		㉙子育ての支援や地域開放について具体的な形や内容を理解する	2. 5	
6	研修と研究	㉚研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加する	3. 7	各自での研修、園での研修等受講する機会を多く持つことができた。個人的にも専門書を読んだり、教養を深め、保育力を高めていきたい。
		㉛自分の保育について自己課題をもって評価・反省を行う	3. 7	
		㉜保育者としての専門性に関する研修・研究を行う	2. 9	